

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年11月14日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

(内訳)東灘6,灘3,中央3,兵庫3,北8,長田3,須磨6,垂水8,西8

第 45週

平成29年11月6日

～

平成29年11月12日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	1	4	3					12	4	24						1	1	2	2	1		4	3	1	2		2	3	2	

小児科

報告定点数
設置定点数

31
31

ヶ所
ヶ所

(内訳)東灘4,灘2,中央2,兵庫2,
北5,長田2,須磨4,垂水5,西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症		1			5		3	3	9	21	3	5	4	3	2	2	2							
咽頭結膜熱	3	1					4	1	2	11		1	2	2	6									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	9	1		6		6	6	10	45			1	2	3	5	11	6	7	1	3	6		
感染性胃腸炎	6	5	11	4	15	8	22	48	23	142	3	10	19	15	14	13	12	10	8	4	2	12	3	17
水痘		1			1			2	4	8		1		1		1	1					4		
手足口病		1				1	1	1		4		1	2	1										
伝染性紅斑								1		1					1									
突発性発疹	6				2	2	2		2	14		9	5											
百日咳										0														
ヘルパンギーナ			1							1					1									
流行性耳下腺炎	1		1		1			2	6	11					1	3	2	1	1	2		1		

今週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点医療機関からの報告が定点あたり1.5人となり、過去5年の同時期と比較してやや多いです。

本疾患は、冬季および春から初夏にかけて流行します。感染して2～5日後に咽頭炎、咽頭痛、発熱により発症し、しばしば嘔吐を伴います。毎舌や口の中の小点状出血がみられることもあり、急性リウマチ熱、急性糸球体腎炎などの後遺症を残すこともあります。

患者の咳・痰など分泌物から感染しますので、予防には、患者との濃厚接触をさけることが最も重要です。学童期の小児に好発し、家庭、学校での集団発生も多いです。普段からうがい、手洗いを励行し、感染を防ぎましょう。

眼科	報告定点数					10	ヶ所	(内訳)東灘1,灘1,中央1,兵庫1, 北1,長田1,須磨1,垂水1,西2																					
	設置定点数					10	ヶ所																						
疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎										0																			

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】
東灘区○ノロウイルス感染症2例:1歳 女2名
 ○マイコプラズマ肺炎1例:10歳 女
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:年齢性別不明
 ○細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)1例:年齢性別不明
 ○細菌性腸炎(病原性大腸菌O86a)1例:年齢性別不明
西 区○ロタウイルス感染症1例:4歳 男

【基幹定点(市内 3ヶ所)からの報告】
細菌性髄膜炎2例:43歳 女、49歳 女

【市内の感染症の状況】
○インフルエンザ
今週のインフルエンザ患者の報告は、定点あたり0.5人です。
まだ流行期(定点あたり1人)ではありませんが、今後の動向に注意しましょう。

【行政検査情報】※行政検査:公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査
○麻しん・風しん(五類感染症)疑い 検査結果:麻しん・風しんともにPCR陰性のため発生届出取下げ
・43歳 女 ・症状:発熱、発疹、頭痛、鼻汁、咳、リンパ節腫脹
・渡航歴あり(韓国に長期滞在) ・家族に同様の症状なし ・ワクチン接種歴不明

【麻しんについて】
現在、国内で麻しんの発生はなく、神戸市でも発生していません。症状や渡航歴、予防接種歴などから麻しんを強く疑う患者を診察した場合は、保健所にご相談下さい。
また、ILI情報センター(ホームページ)に届出等の詳細を掲載しておりますので、参考にして下さい。

【医療機関の皆様へ＜感染症情報＞ 麻しん:ILI情報センター

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年11月14日作成

全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は18人(うち潜在性結核感染症3人)です。

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	平成29年9月頃	2017年10月23日	2017年10月31日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出 (大腸粘膜組織)	下痢、粘血便	性的接触	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0~4歳	2017年11月8日	2017年11月8日	2017年11月9日	病原体不明	臨床決定	発熱、痙攣 意識障害	不明	-
男	20代	2017年10月29日	2017年11月1日	2017年11月4日	病原体不明	臨床決定	発熱、頭痛 意識障害	不明	-

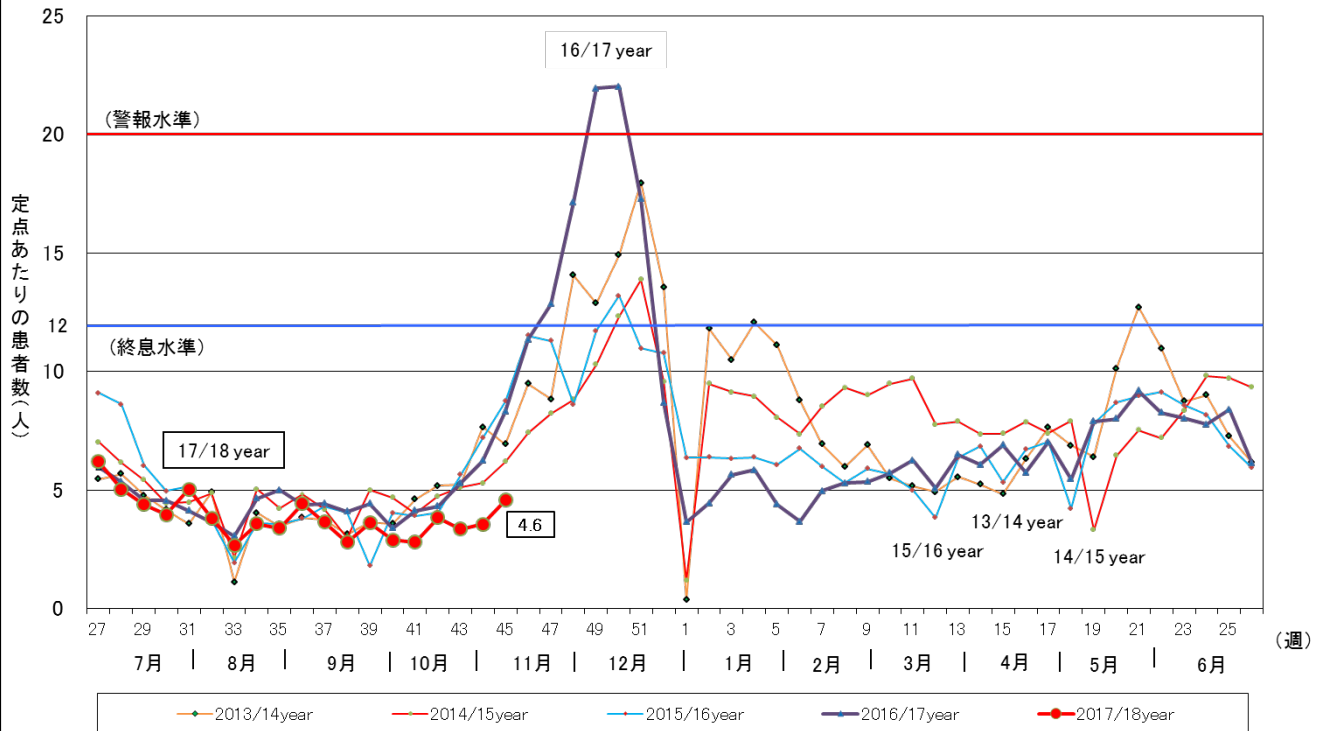
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2017年10月27日	2017年10月30日	2017年11月2日	-	分離・同定による 病原体の検出(血液)	発熱 全身倦怠感 菌血症	不明	ワクチン接種なし

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスB2型	髄液、血清	中央	33歳女性(10/27採取、39.1℃、無菌性髄膜炎)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



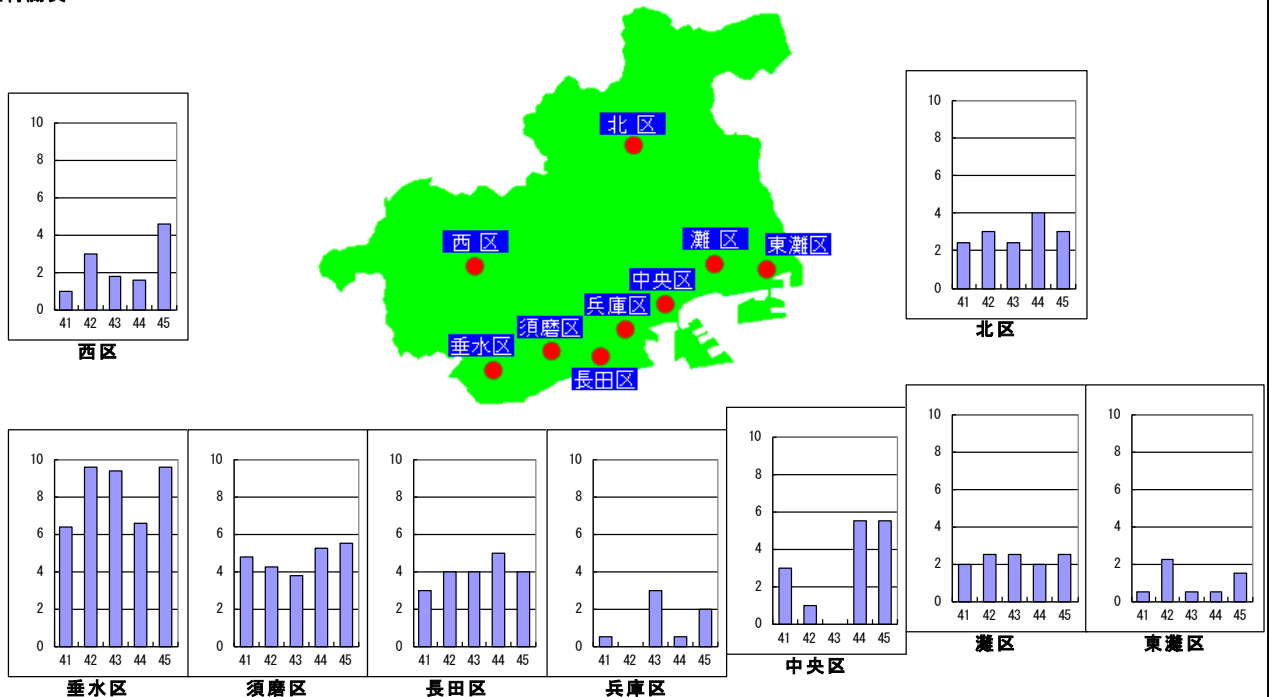
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 41 週 平成29年10月9日

～

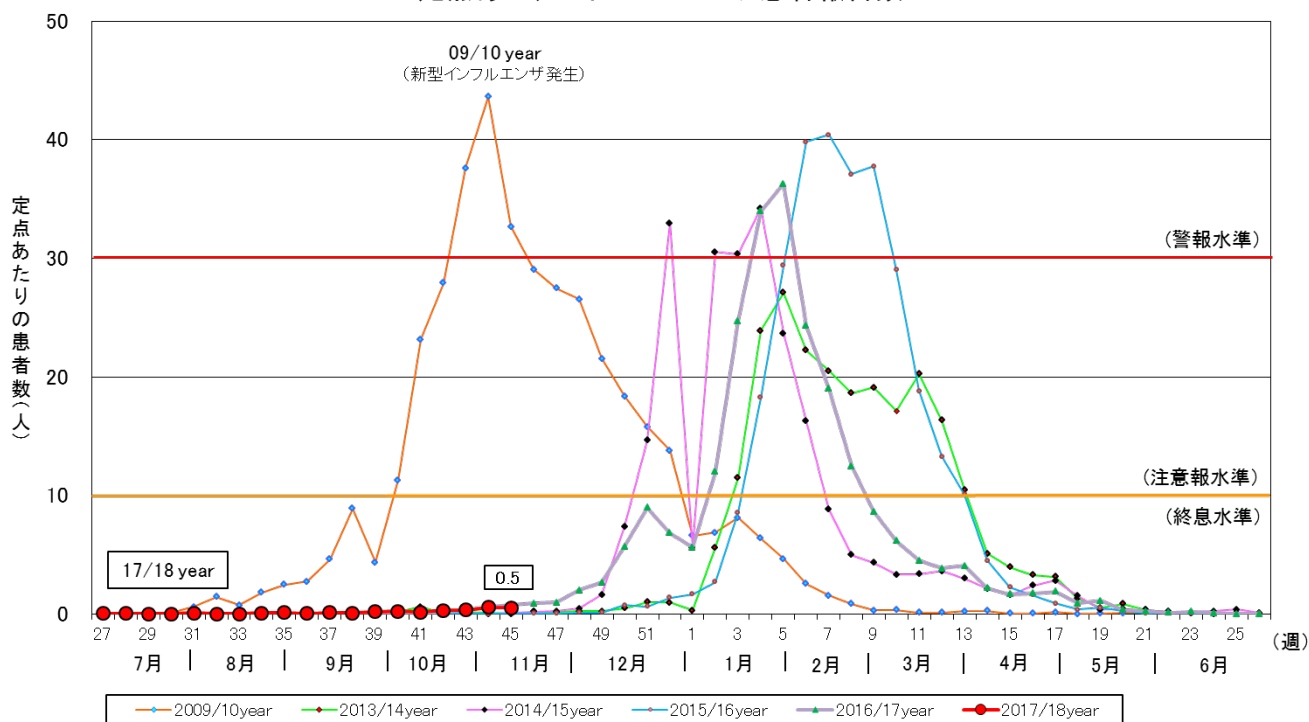
第 45 週 平成29年11月12日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのインフルエンザ患者報告数



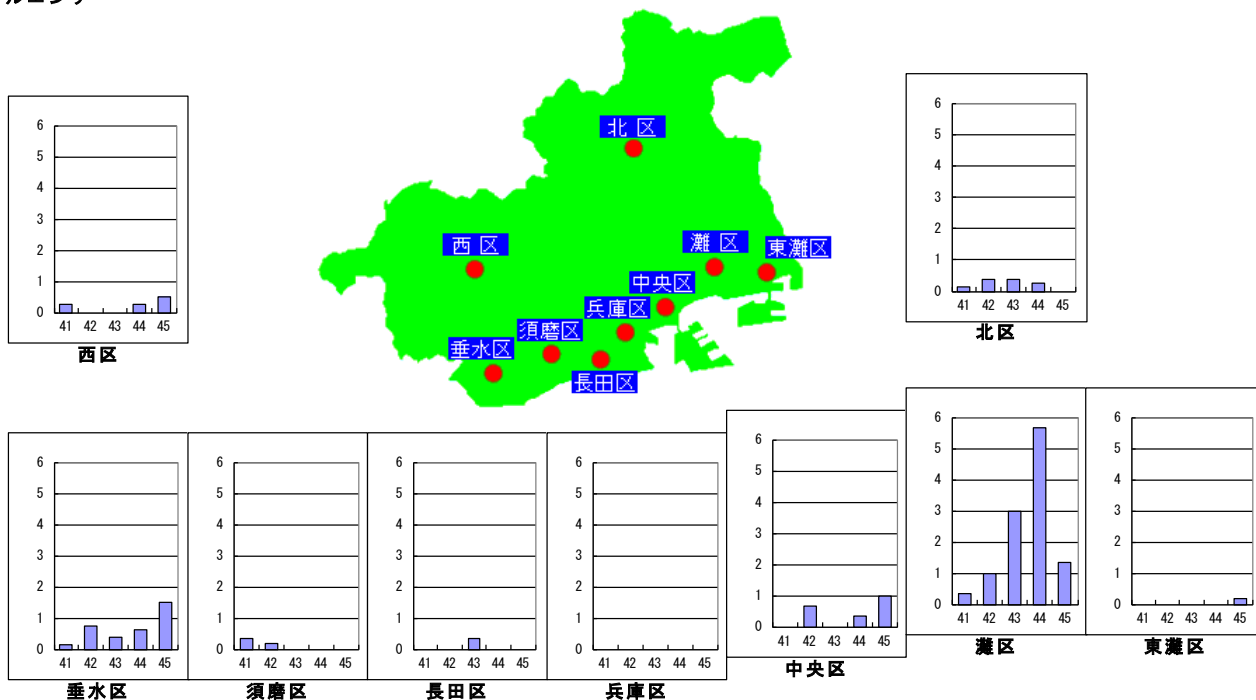
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 41 週 平成29年10月9日

～

第 45 週 平成29年11月12日

インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。